

令和7年度事業計画(案)について

1. 令和7年度 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会事業計画(案)

今年度は、明知鉄道沿線地域公共交通計画（平成31年度～令和8年度）に基づく取り組みが7年目となります。本計画の目標達成に向けた事業は、昨年度の取り組み評価から得た課題と対応を踏まえて、引き続き明知鉄道を基軸とした公共交通ネットワークを構築していきます。

事業内容は、主に次のとおりとします。地域全体で守り育てる意識を持ってもらうよう地域、事業者、行政が協働して取り組んでいきます。

合わせて、明知鉄道沿線地域公共交通計画の改訂について、協議を行っていきます。

(1) 会議

会議名	主な内容(予定)
第1回協議会 (令和7年6月5日)	1. 令和6年度事業報告並びに収支決算報告について 2. 令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について 3. 令和8年度地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)について 4. 明知鉄道生活交通改善事業計画について
第2回協議会 (令和8年1月)	1. 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について (地域内フィーダー系統) 2. 令和8年度活動方針(案)について 3. 明知鉄道沿線地域公共交通計画の改訂について

(2) 取り組み事業の一覧

目標	施策	事業
【目標1】 公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進	1.公共交通を「活用」する市民の意識づくり	1.観光列車やイベントでの市民による活動
		2.地域イベントと連携した公共交通の活用
		3.SLの復元を通じた地域づくり
		4.待合時間を有効活用できる結節点
	2.公共交通を「支える」市民の活動促進	1.明知鉄道が有するさまざまな価値の発信
		2.沿線環境の整備
		3.収入源の拡大
		4.モビリティマネジメントの推進
	3.運転手確保に向けた取り組み	1 職業紹介企業との連携による募集活動
2 資格取得の奨励策の調査・検討		
【目標2】 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	1.地域全体の総合的な公共交通ネットワークの形成	1.恵那駅周辺での循環線の新設
		2.バス路線の見直し
		3.明知鉄道の1時間1本化
	2.快適な公共交通利用環境の整備	1.施設の更新
		2.P&R、サイクルトレインの推進
		3.鉄道・バス共通1日乗車券の発売
	3.関係者との連携強化	1.恵那峡線・大井町東線・大井町西線・明智線の改善・利用促進
		2.隣接自治体との関係強化・組織間ネットワークの充実
【目標3】 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	1.当地域に適したMaaSの実現	1.運賃のキャッシュレス化
		2.人とアプリによる「交通コンシェルジュ」
		3.日帰り旅コースの設置・運用
		4.定額制乗り放題運賃・年間パスポート
		5.モードを跨いだ運賃設定
		6.移動データの取得
	2.新たな技術を活用した付加価値向上	1.自動運転の導入推進
		2.EV車両の導入推進
	3.バリアフリー化を通じたサービスアップ(現状維持から発展へ)	1.駅舎などのバリアフリー化
		2.ボランティア車掌の創設
		3.外国語案内・バス系統番号の表示
	4.観光列車の推進	1.観光列車と広報・周知の充実
		2.観光列車やイベントでの市民による活動(再掲)

(3) 重点的に取り組む事業

【目標1】公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進

①モビリティマネジメントの推進〔1-2-4〕

バス利用促進イベントや運転免許証返納の促進、医療・福祉との連携など、多様な方法で公共交通の利用へつなげる取組みを行う。

- ・利用促進に向けた啓発（5/24 まちなか市、6/1 健幸フェスタ、その他）
- ・乗り方教室、市民講座の実施
- ・高校生向けの公共交通利用促進PR活動の強化（チラシ作成配布）【新規】
- ・えーなワンコインパスポート及びバス・明知鉄道定期券の提示で市内店舗の特典が受けれる「公共交通応援店舗」制度の検討構築（市内商店と連携）【拡充】
- ・キャッシュレス決済の利用促進【新規】
- ・路線マップの作成配布
- ・シンポジウムの開催



②交通事業者との連携による募集活動〔1-3-1〕

就職・転職支援企業を通じた求人募集や合同説明会への出展など、運転手確保に向けた取組みを行う。

- ・ビジネスサポートセンターによる紹介
- ・8/2 中津川・恵那おしごとフェアへの参加



【目標2】

③バス路線の見直し〔2-1-2〕

既存バス停だけでは対応できない町内の移動、バス停から遠い地点とバス停との移動を確保するために、ボランティア輸送実施団体を含めた交通関係者と連携し、新たな移動手段の検討を行い、交通空白地の解消を推進する【拡充】

- ・輸送手段の現状把握
- ・移動可視化データの分析に基づく、一体的な交通ネットワークの再編

④施設の更新〔2-2-1〕

鉄道施設及びバス車両において、国・県の補助を活用しながら、施設等の更新を進めていく。詳細は、明知鉄道沿線地域公共交通計画 別紙 地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）（資料4）及び明知鉄道生活交通改善事業計画（資料5）を参照

⑤P&R、サイクルトレインの推進〔2-2-2〕

P&Rの推進に向けた周知とシェアサイクルを活用したシームレスな移動手段の確保に向けた調査検討を行う。

- ・ゼロカーボンに向けた公共交通の利用促進（P&Rの企業への推奨等）【新規】
- ・シェアサイクルの沿線駅設置の可能性調査検討【新規】

【目標3】

⑥日帰り旅コースの設置・運用〔3-1-3〕

公共交通の総合案内所「恵那市交通コンシェルジュ」を通じて、公共交通機関を使ったおでかけのモデルコースを増設した利用促進を行う。

- ・公共交通や施設の情報と運賃を一括で支払えるような仕組みの構築
- ・モデルコースの設定【**拡充**】

⑦モード跨いだ運賃設定〔3-1-5〕

交通事業者間において、運賃や配分方式等に関する検討を継続する。

- ・内容 イ 定額制乗り放題運賃と年間パスポート
(定額制) ある1日を一定金額で地域内の公共交通が乗り放題
(年間パス) 年間で乗り放題
- ロ 鉄道とバス運賃の統合
交通事業者を跨いだ運賃の統合 運賃に関する乗継時の不便解消

・イメージ図



(4) 明知鉄道沿線地域公共交通計画の改訂

令和8年度で計画最終年を迎える、明知鉄道沿線地域公共交通計画の次期計画の改訂に向けた準備を進める。

○計画年度：令和9年～11年度（3カ年）

<参考>恵那市みらいビジョン2045（第3次市総合計画）
基本構想の計画期間：令和8年度～令和27年度（20カ年）
基本計画の計画期間：令和8年度～11年度 ※4年度ごとに見直し
パブリックコメント：令和7年5月20日（火）～6月20日（金）

○スケジュール（素案）

【令和7年度】

- 6月 活性化協議会①（現行計画の紹介、計画改訂スケジュール）
- 6月～12月 計画改訂に向けた準備調整（課題・方向性の整理）
- 1月 活性化協議会②（課題・方向性の整理）
- 1月～2月 地域検討会の開催①（現状把握・意見交換）

【令和8年度】

- 6月 活性化協議会①内容検討（作成方針（案））
- 6月～7月 アンケート調査
- 8月～9月 地域検討会の開催②（見直しの方針）
- 9月 活性化協議会②（計画素案）
- 12月 活性化協議会③（計画案）
- 12月 地域検討会の開催③（計画案説明）
- 12月～1月 パブリックコメント
- 1月 活性化協議会④（計画策定）

2. 令和7年度 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会収支予算書（案）

【収入の部】

（単位：円）

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (R7-R6)	説明
1 負担金	1 負担金	1 負担金	3,000,000	3,000,000	0	恵那市
2 補助金	1 補助金	1 補助金	7,354,000	0	7,354,000	国（フィーダー）
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	1,138,009	3,411,581	▲2,273,572	前年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	991	419	572	預金利息
合 計			11,493,000	6,412,000	5,081,000	

【支出の部】

（単位：円）

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (R7-R6)	説明
1 運営費	1 会議費	1 会議費	60,000	60,000	0	協議会開催経費
	2 事務費	1 事務費	50,000	50,000	0	消耗品費、役務費、 印刷費など
2 事業費	1 事業費	1 事業費	11,283,000	6,202,000	5,081,000	事業PR、シホゾウム、 利用促進（バス時刻路 線マップ作成等）、乗り方 教室、計画改正費、フ ィーダー補助金
3 予備費	1 予備費	1 予備費	100,000	100,000	0	
合 計			11,493,000	6,412,000	5,081,000	

<参考>

制度改正により令和7年度から、地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）補助金が、協議会に交付されることから、歳入歳出共に前年予算額と比較すると大きく増加している。

なお、令和6年度までは、国から直接バス事業者に補助金が交付されていた。

令和7年度 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会 事業計画

事業	取り組み内容	実施主体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会															
協議会の開催		法定協議会	事前調整			●6/5第1回協議会					事前調整	●第2回協議会			
地域公共交通確保維持改善事業	地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダーシステム）	恵那市・交通事業者			●計画申請				運行開始	自己評価		●協議会承認 ●二次事業評価（第三者評価）			
【目標1】公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進															
1-1-1 観光列車やイベントでの市民による活動	食堂車の運行、鉄道の乗客を沿線園児の手を振る見送りや地元団体のお出迎え	地域住民・明知鉄道	活動実施：おばあちゃんのお弁当列車（4月～5月）、寒天列車（4月～8月）きのこ列車（9～11月）、栴酒列車（9月、1～3月）、じねんじょ列車（12～3月）												
1-1-2 地域イベントと連携した公共交通の活用	イベントについて地域・事業者と連携	地域住民・バス事業者・明知鉄道			●6/7さわやかウォーキング				●9/21みのりのみのり祭り			●11/3マリアマチ ●11/6-9 WRC			
1-1-3 SLの復元を通じた地域づくり	SL乗車体験、SLファンクラブ拡大策実施 恵那未来キャンパスにおける待合環境の維持確保	地域住民・明知鉄道・恵那市	●4/12.13運転体験 ●5/4運転体験		●6/7.8運転体験		●7/26運転体験 ●7/27乗車体験		●9/6運転体験 ●9/7乗車体験		●10/18運転体験 ●10/19運転体験		●11/2運転体験 ●11/3乗車体験		
1-1-4 住民活動や高校生に使いやすい人が集う駅づくり	イベントや会議などにおける明知鉄道の情報発信	地域住民・2市	待合環境の維持確保												
1-2-1 明知鉄道が有するさまざまな価値の発信	イベントや会議などにおける明知鉄道の情報発信	明知鉄道・2市	イベントや会議などにおける明知鉄道の情報発信（イベント、自治会会議・会合、壮健クラブ等）												
1-2-2 沿線環境の整備	地域住民による沿線環境（景観）整備、植樹	地域住民	地域住民による景観整備			●連絡協議会理事会			環境整備・法面植樹・苗木育成・樹木剪定						
1-2-3 収入源の拡大	各種定期券の発売検討	地域住民・明知鉄道	各種定期券の発売検討（オリジナルデザイン等）												
	明知鉄道定期補助制度の実施啓発	恵那市	補助制度の実施啓発												
1-2-4 モビリティマネジメントの推進	バス乗り方教室の開催 高校生を対象とした利用促進（デジタル定期・回数券）、モデルコースの作成配布 ワンコインバスポート、グリーン会員証の周知強化及び拡充（ワンコイン）	恵那市 恵那市 恵那市・明知鉄道	●随時：市民講座 ●5/24 まちなか市		●6/1健幸フェスタ		●10/18 まちなか市								
	公共交通シンポジウムの開催	協議会	随時周知受付			●29 東濃ドライブイン-東濃駅前			商店街等と連携した事業調整（ワンコイン・バス鉄道定期券）			事業拡大			購入会（両）
1-3-1 交通事業者との連携による募集活動	事業者によるPR、おしごとフェアへの参加	交通事業者・2市	随時募集活動			●8/2中津川・恵那おしごとフェア									
1-3-2 資格取得の奨励策の調査・検討	制度の調査検討実施	交通事業者・2市	実施事業者による継続実施												
【目標2】沿線への移住定住を促す地域公共交通ネットワークの形成															
2-1-1 恵那駅周辺での循環線の新設	まちなか巡回バスの確保維持	恵那市・バス事業者	継続運行			●5/24 まちなか市 ●6/1健幸フェスタ			アンケート調査			ステーション追加			●検証
	シェアサイクル事業利用促進及び規模拡大 移動可視化データを活用した路線の見直し 交通空白地の解消	恵那市	車両増			アンケート調査			ステーション追加			継続			●必要に応じ再編
2-1-2 2.バス路線の見直し	データの検証及び交通空白地のヒアリングによる現状把握と対策の検討	協議会・地域住民	データの検証及び交通空白地のヒアリングによる現状把握と対策の検討												
2-1-3 明知鉄道の1時間1本化	準パターンダイヤ一部設定	明知鉄道	継続運行												
2-2-1 施設の更新	鉄道施設の整備、	明知鉄道	●橋梁修繕、PCマクラギ化、レール重軌条化、木まくら木同種更新、通信ケーブル取替、重要部検査14号、線路・電路・車両保存												
2-2-2 P&R、サイクルトレインの推進	駅駐車場PR・サイクルトレインの実施 明知鉄道1日乗車券（市内バス無料）の販売 今後鉄道も含めて検討	明知鉄道 明知鉄道・バス事業者	●シェアサイクルの沿線駅設置の可能性調査検討、ゼロカーボンに向けた公共交通の利用促進（P&Rの企業への推奨等）												
2-2-3 鉄道・バス共通1日乗車券の発売	恵那峡線・大井町東線・大井町西線・明智線の改善・利用促進	協議会・県・バス事業者	明知鉄道1日乗車券（市内バス無料）の継続実施												
2-3-1 隣接自治体との関係強化・組織間ネットワークの充実	東濃鉄道明智線の経営支援するため、東鉄・瑞浪市・恵那市で3者協定	協議会	継続運行			●協定内容の調整			新協定による運行継続（一部減便）						
【目標3】域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備															
3-1-1 運賃のキャッシュレス化	デジタルー日乗車券・回数券・定期券及びPayPayの継続実施	恵那市・交通事業者	継続実施・周知強化【再掲】												
3-1-2 人とアプリによる「交通コンシェルジュ」	恵那市交通コンシェルジュによる案内の実施（オペレーター、WEBサイト）	交通事業者・恵那市・観光協会等・アプリ事業者	継続実施												
3-1-3 日帰り旅コースの設置・運用	恵那市交通コンシェルジュポータルサイト内「えな乗りつぎ小旅」の提供	観光協会・交通事業者・恵那市	継続実施			●コースの追加調整			●コースの追加						
3-1-4 定額制乗り放題運賃・年間バスポート	市内バス1日乗車券及びワンコインバスポートの発売	交通事業者・恵那市	継続実施												
3-1-5 モードを跨いだ運賃設定	恵那市自主運行バスと東濃鉄道恵那営業路線の運賃統一	バス事業者・恵那市	継続実施												
	鉄道とバスを跨ぐ運賃設定の検討	明知鉄道・バス事業者・2市	継続検討												
3-1-6 移動データの取得	AI画像認識技術で映像を数値に変換した移動データの可視化	恵那市・バス事業者	継続検証及び取得したデータの把握による路線の再編（2-1-2）												
3-2-1 自動運転の導入推進	広域連携による自動運転の実証実験（岩村城下町）	交通事業者・2市	●東濃地域自動運転推進コンソーシアムの設置			実証実験（期間要調整）			事業検証						
3-2-2 EV車両の導入推進	導入実績のある市町へのヒアリングを実施による課題等の把握及び検討	交通事業者・2市	他市町の事例の把握												
3-3-1 駅舎などのバリアフリー化	状況把握	明知鉄道・2市	状況把握												
3-3-2 ボランティア車掌の創設	車掌創設に向けた検討	明知鉄道				実施検討・募集・育成									
3-3-3 外国語案内・バス系統番号の表示	バス系統番号表示の検討	協議会・明知鉄道	継続実施												
3-4-1 観光列車と広報・周知の充実	食堂車の運行	明知鉄道	活動実施：おばあちゃんのお弁当列車（4月～5月）、寒天列車（4月～8月）きのこ列車（9～11月）、栴酒列車（9月、1～3月）、じねんじょ列車（12～3月）												
3-4-2 観光列車やイベントでの市民による活動	鉄道の乗客を園児や地元団体がお出迎え（再掲1-1-1）	地域住民・明知鉄道	継続実施												
【その他】															
明知鉄道沿線地域公共交通計画の改訂（恵那市地域公共交通計画含む）			協議会			●協議会 ●計画改訂に向けた準備調整（課題・方向性の整理）			●協議会			●地域検討会			